

## 集客施設における地震発生時の対応

### - 代表的な集客施設からの聞き取り調査結果 -

### 集客施設からの聞き取り調査 - 目的 -

- 不特定多数の人が利用する施設における緊急地震速報の利用は、どうあるべきか？
  - 施設の管理者は？
  - 施設の利用者は？
- 不特定多数の人が利用する施設に対し、聞き取り調査を実施
  - 地震発生時、どのような対応を行うこととしているのか
  - 緊急地震速報を有効に利用する手がかりをつかみたい

## 聞き取り調査を行った施設

- デパート
- ホテル
- 競技場
- 駅
- 劇場

現行の地震対策や地震発生時の対応などについて聴取

## デパート

- 施設に震度計を設置。しきい値を超えた揺れが観測された場合には、直ちに館内放送を実施。
- 建物は、耐震化されているので、館内放送では、落ち着いて、その場で安全を確保するように呼びかけ。
- 売り場の位置、状況によって地震時の危険性、取るべき対応は、異なる。
  - 売り場担当者による対応行動の検証が重要
- 火災発生時など、従業員にのみ伝える暗号放送を実施することもあり。

## ホテル

- 施設に震度計を設置。しきい値を超えた揺れが観測された場合には、直ちに館内放送を実施。
- 揺れの程度によって放送内容を変えているが、基本は、落ち着いて、その場で安全を確保するように呼びかけること(建物は、耐震化されているので)。
- 建物の損傷の程度が著しい場合や火災発生時には、従業員の指示に従い避難することを呼びかけ。
- 発生した事象の種類や規模によって、必要なフロアにのみ放送を実施することも。

## 競技場

- 施設は耐震化されていること、落下物などの危険も少ないことから、利用者には、その場にとどまっていたことが最も安全と考えている。
- 地震発生時の放送による呼びかけは行っていない。音声による呼びかけは、実効性に疑問。
  - 電光掲示板の利用による周知が有効かも
- 何がおこったのか、周辺の状況はどうなのかを伝えることが、混乱の防止につながるとの認識。

## 駅

- 駅舎のほとんどは、耐震化されているので、利用者には、その場にとどまっていたことが最も安全と考えている。
- 地震発生時の放送による呼びかけは行っていない。
  - 駅舎の損傷の程度が著しい場合や火災発生時には、指示に従い避難することを呼びかけ。
- 発生した地震による運行状況に関する情報は、適宜提供。

## 劇場

- 建物は、耐震化されているので、利用者には、その場にとどまっていたことが最も安全と考えている。
- 地震発生時の放送による呼びかけは行っていない。
- 幕間を利用して、非常時には係員の指示に従ってほしい旨、周知をしているところも。
- まず、従業員が落ち着いて対応することが重要。

## まとめ

- 揺れる前にその到来を知ることができると言っても、緊急地震速報を利用して施設の外へ避難することは困難。
  - ➡ 施設利用者が施設内にとどまった状態での情報利用が前提。
  - ➡ 施設の耐震性の確保は、重要。
- この前提のもと、利用者は、落ち着いて、その場で身の安全を確保することが基本。
- 施設によって取るべき対応・行動が異なる可能性。
  - ➡ 施設の状況は、施設管理者側が最もよく知っていることから、管理者側で検討を行い、その結果を利用者に周知しておくことが重要。
  - ➡ 利用者は、勝手に判断して行動せず、施設管理者の指示に従うことが重要。